

## 大原社会問題研究所五十年史

## III 本格的事業の展開から東京移転まで〔一九二三～三六年〕

## 「大原社会問題研究所アルヒーフ」の刊行

研究調査事業としてこの年成果を得たものの一つに消費組合調査がある。後藤貞治氏によってその調査結果がとりまとめられ、「大原社会問題研究所アルヒーフ」第一号『本邦消費組合の現況』として九月に刊行された。アルヒーフは、主として調査報告資料を掲載するもので、すでに二年前より計画されていたものである。

労働年鑑の編集は権田氏の留学中高野氏が担当ときまったことは前述したところであるが、四月七日より河野密氏が臨時嘱託として編集を手伝うことになった。なお権田氏は一〇月四日帰朝し、再び年鑑編集の主任となった。またこれより先、細川嘉六氏の留学が決定し、七月一八日には所員による送別会が開かれた。

法政大学大原社会問題研究所五十年史

発行 1970年11月

編・発行法政大学大原社会問題研究所

---

[前のページ](#) ← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 → [次のページ](#)

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)

---